

バイオラングタワーの七夕の短冊が小さな植木鉢に再生

～ 5万人の願いを形に残しました～

バイオラングでは、6月中旬から21日間で集まった5万枚の短冊につづられた想いや植物を愛でる気持ちを記念に残していくために、小さな植木鉢として再生することにしました。

植物を育てる植木鉢として使用できることはもちろん、卓上で小物入れなどに利用することも可能な大きさで、短冊作りに参加された皆様の記念になるとともに、資源のリサイクルという環境配慮の取り組みを目指したものです。

この植木鉢を博覧会最終週に、感謝の気持ちを込めて来場者の皆様に配布させていただきます。最終日にはバイオラングアンバサダーの原田夏希さんからも植物の苗を植えてプレゼントさせていただきます。

記

1. 植木鉢

園芸鉢 3.5号 (直径10cm、高さ10cm)

短冊を裁断 (2×18mm) し、樹脂*を混ぜ成形。

ポット1個あたり、短冊 (54×780mm) 約7枚を使用。



*化粧品や洗濯のりに使われている水溶性の合成樹脂

縁飾りがあるもの (奥) とないもの (手前) があり、縁飾りの色は赤・青・黄・緑・ベージュ。

鉢としてだけでなく、ペンや小物などを入れて利用することも可能です。

2. 数量

7,500個程度

3. 配布方法

9月18(日)～25(日)を感謝ウィークとして、毎日一定数を配布します。

一人でも多くのお客様に行き渡るよう、お一人様一個とさせていただきます。

18～24日・・・14時と17時の2回 各450個

場所：バイオラング併設「水と緑のパビリオン」入り口

25日最終日・・・11時・14時・16時の3回 計1125個 (各375個)

場所：バイオラング回廊 南側

アンバサダーの原田夏希さんが、バイオラングの植栽パネル数1125枚にちなんだ数量の鉢に植物を植えたものを配布します。

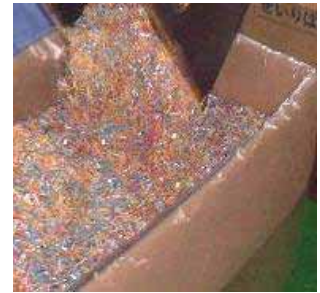
製作過程



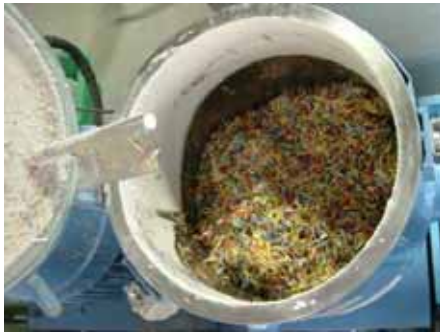
ネットから取り外した5万枚の短冊



裁断



2×18mmのチップ状



紙と樹脂を入れた混合機



金型へ材料投入



型どり



金型から製品取り出し



端切り処理



完成

上記の製作過程は、水と緑のパピリオン内や配布の待ち列に表示します。

今年日本一の七夕飾り挑戦について(参考)

- ・ 6月17日・・・短冊作り開始、2万枚の目標を5万枚に上方修正
- ・ 7月7日・・・短冊作り5万枚達成(21日目で終了)
- ・ 7月1～12日・・・タワーへの短冊付きのネット取付け(計8日間)
短冊5万枚がタワーに飾られ、今年日本一の七夕飾りが完成
- ・ 8月11日・・・旧暦七夕まで掲出、その後ネット取り外し

現在、ギネスワールドレコードへの申請書類等作成中。



以上